

令和6年度

社会福祉法人

加茂光陽会

事業報告書

社会福祉法人 加茂光陽会

令和6年度 社会福祉法人加茂光陽会 事業報告書

1 概要

令和6年度における事業運営の基本方針は、以下のとおりであった。

1、福祉施設としての目標

- ① 利用者から信頼される、充実したサービス
- ② 利用者家族から信頼される施設運営
- ③ 地域社会から信頼される、心のこもった福祉サービス
- ④ 地域との交流を深めるイベントの実行
- ⑤ 職員同士お互いに信頼し合える、職場環境づくり
- ⑥ 内部及び外部における職員研修、資質向上のための研修受講や資格取得の推進を図る
- ⑦ 地域における公益的取組の実施
- ⑧ 業務継続計画の検討

2、経営面の目標

【堅実な法人運営・経営改革への取り組み】

- ① 経営意識の醸成と経営組織のガバナンスの強化
- ② 経営理念、経営方針の明確化と浸透
- ③ 各事業所とも稼働率95%の確保
- ④ 事業運営の透明性の向上
- ⑤ 財務規律の強化
- ⑥ 各種加算の積極的取得

これらを重点目標として事業を実行し、法人の厳正な運営を行うとともに各施設の新たな発展と安定した経営の確立に努めた。新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症の対応に苦慮した。また、施設の老朽化に伴う修繕費の増加、光熱費・物価の高騰、職員の離職により、経営は大変厳しいものとなった。

2 事項別の状況

- (1) 施設目標については、各施設が目標達成に向けた努力を継続し、利用者へ寄り添うサービスを日々心がけた。
- (2) 経営意識の醸成と経営執行機能の強化については、全体会議や管理者会議など機会あるごとに、経営者から管理者に向けた啓発を徹底した。また、各組織における職位と責任の明確化及び部下への指導・教育の徹底を図った。
- (3) 経営理念、経営方針の明確化と浸透については、全体会議、研修の場を活用し、全員に浸透を図るべく努めた。
- (4) 職員の確保を図り安定した運営を目指したが、職員採用に介護職員7名（内外国人技能実習生2名）、調理職員2名（内外国人技能実習生1名）を確保したが、パート職員の比率が高いうえに離職者が15名となったため、介護・看護・調理現場は苦戦を強いられた。そのため、各職種へ派遣職員、外国人技能実習生を採用した。安定した職員確保のために、本法人では奨学金制度を導入しており、地元大学の学校法人美作学園美作大学短期大学部専攻科とも連携を図った。
- (5) 経営面において特別養護老人ホーム緑山荘は、入所者の長期入院加療、他施設への転居等もあり、平均稼働率は94.0%で、前年度に比べ利用率は1.1ポイント減となった。短期入所は、入所者が新型コロナ、インフルエンザに感染し受入れを中止することもあり、受け入れを積極的に勤めたが、平均稼働率38.4%となり昨年より7.4ポイント減少した。グループホーム杉宮は、入所者の入院等があったため、4.3ポイント減の平均稼働率92.0%となった。
- (6) 現場事務の効率化を図るためにタブレット・インカム等のIT機器の活用を図った。
- (7) 職員の育成及び職務上必要な能力の向上、施設利用者へのサービス向上に資することを目的に、資格取得支援制度を新設した。
- (8) 法人全体の企画実行委員会を中心に、演奏会、文化講演会、地域の方が法人の開催する季節ごとの催しを計画していたが、新型コロナウイルス感染症等の拡散防止のため昨年同様中止を余儀なくされた。

3 報告

(1) 感染症対策

新型コロナウイルス、インフルエンザ等、施設内で感染の拡大が発生しないよう対策を行った。

4 現法人の組織（令和7年3月31日現在）

- | | | | | | |
|-----------|------------------------|-------|-------|-------|-------|
| (1) 所在地 | 岡山県津山市加茂町小中原115番地 | | | | |
| (2) 法人名 | 社会福祉法人 加茂光陽会 | | | | |
| (3) 組織 | 役員8名（理事6名 監事2名） 評議員 7名 | | | | |
| (4) 役員氏名 | 理事長 | 只友世毅子 | | | |
| | 業務執行理事 | 薄元 優子 | | | |
| | 理事 | 小倉 道紀 | 平井 通博 | 岡田 和子 | 河本 泰精 |
| | 監事 | 神崎 信輔 | 小松 茂 | | |
| (5) 評議員氏名 | | 三浦 敏章 | 八木恵三子 | 八木芙佐子 | 山本 智英 |
| | | 春名美知孝 | 森岡 礼治 | 江見 正暢 | |

5 令和6年度施設整備等の状況

内 容	金額(千円)
特別養護老人ホーム緑山荘居室エアコン修繕工事(1台)	154
特別養護老人ホーム緑山荘居室エアコン修繕工事(1台)	572
特別養護老人ホーム緑山荘居室エアコン修繕工事(1台)	528
特別養護老人ホーム緑山荘消防設備更新工事(1式)	598
特別養護老人ホーム緑山荘看護室湯ポット修繕工事(1台)	201
グループホーム杉宮居室エアコン取替工事(1台)	106
グループホーム杉宮居室エアコン取替工事(1台)	106
グループホーム杉宮しゃぼん玉ホールエアコン取替工事(1台)	550
特別養護老人ホーム緑山荘調理室ガス給湯器修繕工事(1台)	220
特別養護老人ホーム緑山荘スプリンクラー配管凍結修繕工事(1式)	589
特別養護老人ホーム緑山荘新館汚水槽ポンプ取替工事(1式)	457
合 計	4,081

6 理事会等開催状況

年月日	事項	説 明	備考
R6. 5. 20	監事による監査	法人及び各施設の業務の執行状況及び、収支の状況、財産目録等について監査を受ける	
R6. 6. 6	第1回理事会	1 令和5年度事業報告・決算報告・監事監査報告 2 理事候補者の推薦提案事項 3 評議員会の招集 以上、原案通り可決・承認	
R6. 6. 24	第1回評議員会	1 令和5年度事業報告・決算報告・監事監査報告 2 理事の選任 以上、原案通り可決・承認	
R6. 8. 20	第2回理事会の決議があったものとみなす理事会	1 社会福祉法人加茂光陽会資格取得支援規程 以上、原案通り可決・承認	
R6. 12. 7	第3回理事会	1 令和6年度第一次補正資金収支予算 2 評議員会の招集 以上、原案通り可決・承認	
R6. 12. 25	第2回評議員会	1 令和6年度第一次補正資金収支予算 以上、原案通り可決・承認	
R7. 3. 12	第4回理事会	1 令和6年度第二次補正資金収支予算 2 令和7年度事業計画 3 令和7年度資金収支予算 4 育児・介護休業規程の改正 5 評議員選任・解任委員会委員の選任 6 評議員会の招集 以上、原案通り可決・承認	
R7. 3. 21	第4回評議員会	1 令和6年度第二次補正資金収支予算 2 令和7年度事業計画 3 令和7年度資金収支予算 4 育児・介護休業規程の改正 5 評議員選任・解任委員会委員の選任 以上、原案通り可決・承認	

7 防火・防災対策

1 概 況

令和6年度は、9月に石川県能登地方で記録的大雨を観測し、能登半島地震の被災地に再び大きな被害をもたらした。また、令和7年2月に岩手県大船渡市、3月には岡山県岡山市と愛媛県今治市で林野火災が発生し、鎮圧まで数日を要し被害も広範囲となった。岡山県北部においては幸いなことに大規模な災害に見舞われなかった。当法人においても、感染症の防止対策を講じながら、火災、水害等を想定した訓練などを行った。

災害対策規程及び消防計画に基づき防火管理体制を整備し、職員の責任分担を明確にするとともに、消火・警備・避難設備等の定期点検を実施して非常の際に円滑に機能するように努め、災害委員会において具体的な改善見直しを行った。

Jアラート訓練（全国一斉情報伝達訓練）津山市防災行政無線を活用して、職員等の防災・緊急避難意識の高揚を図り、通報・防災・避難訓練を実施した。

2 実施状況

3 消防用設備等の点検実施状況

実施年月日	内 容
R6. 5. 19	グループホーム杉宮【総合防災訓練】
R6. 9. 19	特養【総合防災訓練】火災想定避難訓練を机上で実施、施設内の消火器等の設置個所の確認
R6. 10. 30	グループホーム杉宮【総合防災訓練】
R7. 3. 17	特養【総合防災訓練】火災が起きた場合の、通報訓練、避難訓練、救急救命講習

津山日本消防機具(株)と消防用設備の保守点検について契約し、令和6年9月5日と令和7年3月31日の2回施設の自動火災報知設備・防火戸・誘導灯設備・消火器具等の保守点検を実施した。

また、令和7年3月消防署職員監視下で、全職員を対象に総合防災訓練、AED、救急救命講習を行った。

令和 6 年 度

特別養護老人ホーム

緑 山 荘 事 業 報 告 書

社会福祉法人 加 茂 光 陽 会

I 概要

“選ばれる施設作り”を目標に、職員の知識と技術の習得、思いやりの気持ちや意識作りと安全の確保を実現する為の取り組みや、利用者の尊厳の保持に努めることに重点を置き事業に取り組んだ。

(1) 利用者の尊厳を保持したサービス提供

- ・利用者個々のニーズに合わせた個別ケアの実践に努めた。
- ・虐待や身体拘束を行わない適切な対応を行うために検討や工夫に努めた。
- ・安全、安心な生活を確保できるよう、事故防止策の徹底や環境整備に努めた。
- ・生活の場として日常を感じられるように季節の催し、クラブ活動やレクリエーション等の実施により生活の質の向上に努めた。

(2) 職員の資質向上

- ・専門職としての知識・技術向上と資格取得のため、施設外の研修へ18回職員を派遣、施設内においてもオンラインを利用し6回の研修を実施し、能力開発と資質の向上に努めた。
- ・令和6年度の介護福祉士国家試験については4名の介護職員が受験し、1人が合格となった
- ・ケア記録のICT化に向けて、ソフトの導入にあたりタブレットやパソコンの効率よく使用方法の検討や調整、入力方法の習得に努めた。

(3) 地域社会との交流

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域住民も参加できる研修や文化講演会は実施できなかったが、納涼まつりは多目的ホールで、ご利用者と職員だけで実施した。実習生およびボランティアの受け入れは行った。

(4) 稼働率を上げるための対応

- ・待機者の減少がみられ、居宅介護支援事業所、病院の医療連携室等との連携を図り、病院退院後や施設退所後の行先として入所申込み者の獲得に努めた。
- ・入所申し込み受付後、早急に面接に出向き早期の入所に心掛けた。
- ・健康管理、事故発生防止、早期退院受け入れにより入院期間の短縮に努めたが、入院者が多い状況があった。

II 処遇の状況

1 介 護

(1) 概 況

利用者自身が有する能力に応じ、可能な限り自立した生活を営むことができるように、また、寝たきりの状態にならず、活気のある日常生活を送ることができるように、個別の援助計画（施設サービス、栄養ケア等）を作成し援助に努めた。

(2) 実施状況

①介護サービスの質的充実

専門職としての知識・技術の向上を図り、利用者個々のニーズに合わせたサービス提供に努めた。

②利用者の生活の質（QOL）の向上

体調に応じてではあるが、離床することを基本として、利用者の生きがいと活気ある生活が実現できるよう、リハビリやクラブ活動や季節に応じた行事、レクリエーション等計画し実施した。誕生日会では写真のプレゼントを行った。

毎週日曜日に介護ミーティング、介護・看護会議を行い、情報共有、改善点、ヒヤリハット、事故報告書の振り返りを行い技術向上を図った。

口腔ケアを毎食後に実施し清潔保持に努め、誤嚥性肺炎のリスクを軽減した。

年2回（9月・3月）、歯科医、歯科衛生士による指導を受けた。

③生活環境の整備

衛生的に快適な生活が送れるよう、施設内を清潔に保つことを心がけた。また、安全確保のための環境整備や修繕箇所の補修を行った。

④地域社会との交流

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、地域行事への参加、施設行事への地域の方々の参加により、利用者自身が地域の一員であることを意識できる機会を作る事ができず、施設への理解を深める事ができなかった。

（3）反省と今後の課題

利用者の尊厳の保持と個々のニーズに合わせたサービス提供については、専門職としての知識、技術の向上に努め、利用者本位の対応を継続していく必要がある。

病院の地域連携室や他施設等とへの情報提供や営業を行うことで、入所申込者の増加に努め、日常的に連携を図ることで早期に入所の決定ができるように取り組む。

また、事故や病気の発生を最小限に食い止めるべく、安全面への配慮と健康管理に努めるとともに、入院等の状況を回避し稼働率を高めるように努める。

施設での生活が楽しみのある充実としたものとなるように、様々な企画等を実施するとともに生活の場として、安心・安全に過ごすことを保証すべく多職種協働でのサービス提供を行っていく。

新型コロナ感染拡大に注意しながら、できる限り外出の機会を増やし地域社会との交流を深めたい。

（4）週間業務

1週間における業務を次のとおり実施した。

令和6年度 曜日ごとのサービス内容

	日	月	火	水	木	金	土
午前	ルームケア 身辺ケア 更衣 介助浴 ベッドメイキング	ルームケア 身辺ケア 更衣 特浴、清拭 ベッドメイキング	ルームケア 身辺ケア 更衣 特浴、清拭 ベッドメイキング	ルームケア 身辺ケア 更衣 介助浴 ベッドメイキング	ルームケア 身辺ケア 更衣 特浴、清拭 ベッドメイキング	ルームケア 身辺ケア 更衣 特浴、清拭 ベッドメイキング	ルームケア 身辺ケア 更衣 介助浴 ベッドメイキング
午後	身辺ケア 更衣 ベッドメイキング	特浴 身辺ケア 更衣 ベッドメイキング	特浴 身辺ケア 更衣 ベッドメイキング	介助浴 身辺ケア 更衣 ベッドメイキング	特浴 身辺ケア 更衣 ベッドメイキング	特浴 身辺ケア 更衣 ベッドメイキング	介助浴 身辺ケア 更衣 ベッドメイキング 食堂レク

・シーツ交換（随時行う）、ポータブルトイレ洗い随時 ・散髪 月2回程度 第2火曜、第3水曜（外部業者による）

・天気の良い日に外気浴の実施 ・誕生日会 第2水曜

<レクリエーション>

利用者の余暇活動と機能回復をはかるために実施した。
(実施状況)

	実施内容
令和6年 4月	お花見会 (中庭の散策)
5月	端午の節句
6月	ミニ運動会
7月	・納涼まつり
8月	七夕まつり、ハッピーコンサート
9月	敬老会参加 (祝賀式・慰問)
10月	
11月	大運動会 (感染対策の為2日に分けて実施)
12月	新年を迎える会 (餅つき)
令和7年 1月	書初め・絵馬づくり・お年玉
2月	節分：ミュージカル風豆まき
3月	ミニ運動会

(令和7年3月31日現在)

<利用状況>

		合計	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
稼働日数		365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	計	57.7	57.8	56.6	56.8	56.4	57.1	57.2	59.0	59.5	59.3	58.8	57.6	56.1
	男	9.4	10.8	10	10	10	10	9.7	9	9	10	8.6	7.9	7.5
	女	48.3	47	46.6	46.8	46.4	47.1	47.5	50.0	50.5	49.3	50.2	49.8	48.6
月間延利用数	計	21,053	1,733	1,756	1,704	1,747	1,770	1,716	1,828	1,785	1,837	1,824	1,604	1,739
	男	3,423	324	310	300	310	310	292	279	270	309	267	220	232
	女	17,630	1,409	1,446	1,401	1,437	1,460	1,424	1,549	1,515	1,528	1,557	1,394	1,507
月末在所者数	計	687	56	57	56	57	57	57	60	58	60	58	55	56
	男	109	10	10	10	10	10	9	10	9	10	8	7	7
	女	578	46	47	46	47	47	48	50	49	50	50	48	49

年間平均稼働率 93.99%

(令和7年3月31日現在)

<分類別人員>

年代別人員

区分	男	女	計
50歳代	0	0	0
60歳代	1	1	2
70歳代	2	5	7
80歳代	3	13	16
90歳代	1	27	28
100歳代	0	3	3
計	7	49	56

介護度別人員

区分	男	女	計
要介護1	0	0	0
要介護2	0	0	0
要介護3	3	18	21
要介護4	1	12	13
要介護5	3	19	22
計	7	49	56

出身地別人員

区分	男	女	計
津山市	7	48	55
(内加茂・阿波)	(2)	(32)	(32)
鏡野	0	0	0
奈義	0	0	0
真庭	0	0	0
勝央	0	1	1
県外	0	0	0
計	7	49	56

資料 1

利用実績表

令和6年度	合計	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3
稼働日数	365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	計 57.7	57.8	56.6	56.8	56.4	57.1	57.2	59.0	59.5	59.3	58.3	57.6	56.1
男	9.4	10.8	10.0	10.0	10.0	9.7	9.0	9.0	8.6	10.0	8.6	7.9	7.5
女	48.3	47.0	46.6	46.8	46.4	47.1	47.5	50.0	50.5	49.3	50.2	49.8	48.6
利用率へ人数	計 21,053	1,793	1,796	1,747	1,747	1,770	1,716	1,828	1,795	1,837	1,824	1,739	1,739
男	3,423	324	310	310	310	292	270	309	309	232	232	232	232
女	17,630	1,469	1,446	1,437	1,437	1,460	1,424	1,549	1,515	1,528	1,557	1,507	1,507

稼働率 94.0%

令和3年度	合計	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3
稼働日数	366	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
平均利用者数	計 59.2	59.7	59.5	59.7	60.0	60.0	60.0	59.4	59.9	58.9	57.6	57.0	58.6
男	9.5	8.7	9.3	9.7	10.0	10.0	10.0	9.9	8.6	9.0	9.0	10.2	10.2
女	49.7	51.0	50.2	50.0	50.0	50.0	49.4	50.0	50.3	48.6	48.0	48.4	48.4
利用率へ人数	計 21,669	1,792	1,844	1,791	1,860	1,860	1,799	1,641	1,798	1,825	1,653	1,653	1,818
男	3,493	262	289	291	310	310	300	288	266	261	261	261	317
女	18,176	1,530	1,555	1,500	1,550	1,550	1,499	1,353	1,500	1,508	1,392	1,392	1,501

稼働率 95.1%

令和4年度	合計	R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3
稼働日数	365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
平均利用者数	計 57.0	56.0	52.5	54.4	56.3	57.4	58.8	57.4	58.0	58.2	58.1	57.5	59.1
男	9.2	8.6	8.4	8.4	8.9	8.5	10.0	9.3	10.0	10.5	9.6	9.0	9.0
女	47.8	47.4	44.2	46.0	47.4	48.9	48.1	48.0	48.0	47.7	48.5	48.5	50.1
利用率へ人数	計 20,794	1,679	1,639	1,631	1,745	1,779	1,763	1,779	1,740	1,802	1,809	1,824	1,832
男	3,350	258	250	252	277	282	299	299	299	324	299	292	275
女	17,444	1,421	1,389	1,379	1,468	1,497	1,464	1,480	1,441	1,480	1,503	1,532	1,557

稼働率 95.0%

令和3年度	合計	R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3
稼働日数	365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	計 58.0	59.0	57.2	58.1	58.5	58.6	58.5	57.4	58.2	57.8	56.7	58.5	58.0
男	11.4	12.7	12.6	12.6	12.5	13.0	11.9	11.5	10.5	10.3	10.0	9.5	9.1
女	46.7	46.3	44.7	45.5	46.0	45.6	46.5	45.9	47.7	47.5	46.7	48.9	48.8
利用率へ人数	計 21,180	1,770	1,774	1,743	1,814	1,816	1,764	1,779	1,745	1,799	1,799	1,637	1,797
男	4,146	382	386	379	388	402	388	355	315	319	310	267	233
女	17,033	1,388	1,386	1,364	1,426	1,414	1,396	1,422	1,430	1,474	1,449	1,370	1,514

稼働率 96.7%

令和2年度	合計	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3
稼働日数	365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	計 58.1	58.8	57.4	56.7	58.0	57.4	58.6	59.8	56.0	56.6	59.5	58.9	58.2
男	13.0	13.4	12.7	12.6	13.0	13.0	13.4	14.0	13.2	13.0	12.4	12.9	12.7
女	44.5	43.2	44.7	44.1	45.2	44.4	45.2	45.8	42.8	43.6	45.0	44.0	45.5
利用率へ人数	計 21,044	1,768	1,780	1,700	1,854	1,778	1,757	1,854	1,681	1,756	1,782	1,650	1,805
男	4,769	403	394	377	403	403	401	433	397	403	386	374	395
女	16,275	1,295	1,386	1,323	1,400	1,375	1,356	1,421	1,284	1,353	1,396	1,276	1,410

稼働率 96.8%

平成31年度	合計	H30.04	H01.05	H01.06	H01.07	H01.08	H01.09	H01.10	H01.11	H01.12	H02.01	H02.02	H02.03
稼働日数	366	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31
平均利用者数	計 57.5	56.5	56.9	58.8	58.8	58.1	58.5	57.4	56.3	58.7	56.6	57.8	56.5
男	14.6	15.0	13.5	13.9	14.0	14.1	15.0	13.0	14.7	13.0	14.9	14.8	15.0
女	42.9	40.5	43.3	44.9	44.8	44.0	43.5	42.4	41.6	43.7	41.7	43.0	41.5
利用率へ人数	計 21,038	1,665	1,763	1,793	1,823	1,800	1,755	1,778	1,689	1,820	1,754	1,678	1,752
男	5,332	450	420	417	434	436	450	465	440	455	452	428	465
女	15,706	1,215	1,343	1,376	1,389	1,364	1,305	1,313	1,249	1,365	1,292	1,249	1,287

稼働率 95.8%

平成30年度	合計	H30.04	H00.05	H00.06	H00.07	H00.08	H00.09	H00.10	H00.11	H00.12	H01.01	H01.02	H01.03
稼働日数	366	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	計 57.5	55.0	58.2	57.7	57.9	56.8	57.7	56.7	56.6	58.8	58.6	56.9	59.0
男	14.5	13.4	14.8	14.6	14.6	14.8	15.0	14.0	14.1	13.9	14.1	14.4	16.0
女	43.0	41.6	43.4	43.1	43.2	42.0	42.7	42.6	42.5	44.5	44.5	42.5	43.1
利用率へ人数	計 20,988	1,650	1,803	1,732	1,794	1,761	1,731	1,797	1,697	1,824	1,817	1,592	1,830
男	5,285	401	459	438	454	459	455	435	423	430	428	403	495
女	15,703	1,249	1,344	1,294	1,340	1,302	1,281	1,322	1,274	1,394	1,379	1,189	1,335

稼働率 95.8%

平成29年度	合計	H29.04	H29.05	H29.06	H29.07	H29.08	H29.09	H29.10	H29.11	H29.12	H30.01	H30.02	H30.03
稼働日数	365	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
平均利用者数	計 57.0	55.7	57.0	59.2	58.5	57.1	58.6	58.4	56.7	56.2	55.4	56.4	54.8
男	16.1	15.7	16.5	17.7	18.0	16.3	15.9	16.0	15.7	15.8	14.4	16.2	14.5
女	41.0	40.0	40.6	41.5	40.5	40.8	42.7	42.4	41.0	40.4	40.9	40.2	40.3
利用率へ人数	計 20,907	1,671	1,766	1,776	1,814	1,771	1,799	1,810	1,700	1,743	1,716	1,579	1,700
男	5,860	471	510	532	557	505	477	496	470	480	447	454	480
女	14,947	1,200	1,256	1,244	1,257	1,265	1,322	1,314	1,230	1,263	1,269	1,125	1,220

稼働率 95.0%

2 給 食

(1) 概 況

利用者の健康保持、増進とあわせて食べる楽しみを満たし、暖かい家庭的環境の中で老後の食生活を明るく楽しいものにすることを目標とし、全利用者の性別、年齢、身長、体重、身体活動レベルを基に「日本人の食事摂取基準（2020年度版）」により栄養基準量を算出し、これを基本として献立を作成し、充実した食事の提供を行った。（平均摂取量1,500Kcal/日）

(2) 実施状況

- 1 嗜好調査を行い、利用者の意見が反映された献立、行事や食材により季節感や郷土色を感じられる献立を作成した。
元旦には、嚥下困難な方のために餅の代替え食を作りお雑煮を提供した。
- 2 前年度の実績により作成した食品構成を活用し、栄養基準を満たした献立を作成した。
- 3 利用者個々の状態に対応した食形態、自助具・自助食器の使用、栄養補助食品の提供を含めた食事の提供を行った。
- 4 栄養指導は必要に応じて、個人を対象に日常会話を通じて行った。
- 5 給食材料の購入については、地元の店を優先し、価格、鮮度の面で信頼のできる業者を利用した。また、業務の効率化を図りつつ献立を豊かなものにする為、利用者の状態に合わせながらも楽しんでいただけるような食材選びに努めた。
- 6 温かい料理は温かく、冷たくして食するものは冷たく、適温給食の提供に努めた。
- 7 衛生面については、食品の取り扱いから、マスク・手袋・帽子の着用の徹底、施設・設備の整備を行った。
手洗いの徹底、消毒、加熱、することにより、食中毒の発生を防いだ。
- 8 調理員の志気を高め、衛生面を考慮し調理室内では専用の白衣・帽子・靴を着用した。
- 9 食器やスプーン等も個々に合わせて調整し自力摂取を促し機能低下を防ぐよう関連職種で相談した。

(2) 実施状況

食事の状況

(令和7年3月31日現在)

内 容		備 考	
一般食	主食	7年	6年
		おにぎり食	1人 2人
		ごはん	14人 15人
		かゆ食	36人 34人
		・全がゆ	21人 23人
		・五分がゆ	0人 0人
		・おもゆ	0人 0人
		・かゆミキサー	15人 11人
	副食	普通食	14人 12人
		軟菜食	
		きざみ食	15人 15人
		超きざみ食	4人 7人
		ミキサー食	18人 17人
	経管栄養食	経管栄養食	1人 1人
特別食 【特別に費用を 徴するもの】	療養食	潰瘍食	
		糖尿食	
		減塩食	

食事の分類も利用者の状態（義歯の不適当な者、咀嚼、嚥下困難な者等）、本人の希望などがあり複雑になっている。日々の状態が変わるため、食事変更は看護職員より連絡を受ける。また、特定の疾患（糖尿病等）を患っている方の食事については、医師の指示を受けて、個々に合わせた栄養計算に基づく食事を提供している。また、食器やスプーン等も個々に合わせて対応している。

令和6年度 行事食の状況

月 日	行 事 名	行 事 食 の 概 要
4月3日	ひな祭り	三色押し寿司、牛肉のごま炒め、豆腐の赤だし、ヨーグルト苺ソース
5月5日	端午の節句	山菜のちらし寿司、キャベツとささみの辛子和え、舞茸のすまし汁、季節の和菓子
6月1日	田上がりぼた餅	田上がりぼた餅、新玉ねぎのそぼろ煮、かまぼこのすまし汁、きゅうちゃん漬け、ブルーチェ苺
7月24日	土用の丑の日	うな井、オクラのおかか和え、そば汁、カラフルゼリー
8月7日	七夕まつり	七夕そうめん、茄子のそぼろあん、なめこのみぞれ和え、みかんの寒天寄せ
8月13～15日	お盆	精進料理
9月22日	敬老祝賀会	お赤飯、鯛の塩焼き、茶碗蒸し、松茸のすまし汁、フルーツ盛り合わせ
9月23日	秋分の日	おはぎ、湯葉巻きあんかけ、雷汁、りんごの抹茶クリーム
10月20日	軒戸祭り	祭り寿司、南瓜のそぼろ煮、赤だし、プリンアラモード
12月25日	クリスマス会	チキンライス、鯖の塩こうじ焼き、ほうれん草の胡麻和え、コーンスープ、クリスマススムース苺添え
12月31日	大晦日	年越し蕎麦、わかめおにぎり、胡瓜の酢の物、野菜ジュースゼリー
1月1～3日	おせち料理	お雑煮、黒豆、数の子土佐漬け、五色なます、鯛と野菜の炊き合わせ、牛肉の八幡巻き、伊達巻 お正月ミート、数の子入り酢の物、栗きんとん、甘酒ミルクプリン、ぶりの照り焼き、三色そぼろ寿司
1月7日	七草粥	七草粥、七宝煮、白和え、白はんぺんのすまし汁、梨のコンポート
1月15日	小正月	小豆粥、鶏肉の中華だれ焼き、レンコン炒め、吉野汁、オレンジ
2月2日	節分	節分ちらし寿司、里芋のうま煮、かみつみれのすまし汁、抹茶ゼリーと苺
3月20日	春分の日	ぼた餅、肉じゃが、菜の花のすまし汁、野菜ジュースゼリー

3 医療と看護

(1) 概 況

- ・高齢化に伴い、心身の機能低下が著しく、貧血や骨粗しょう症等の基礎疾患に加え、疾病の慢性化、重度化に対して医療的なケアの必要性、希望が高くなっている。
- ・高齢の利用者においては、老衰、週末状態にある方もおり、終末期。急変時に関する同意書を作成し、書面で受けている。
終末期ケアに対しては、家族の思いを確認しながら、ケアに努めている。
- ・在宅介護の限度を超えた認知症高齢者ケアや在宅酸素、バルーンカテーテルの留置、褥瘡保有者も多く、医療処置が増えているのが現状で、
定期受診や緊急時を含め、救急搬送が必要やケースも増えている。看護体制加算Ⅱ（12単位）で対応している。（常勤換算4.0以上）
- ・感染症対策については、重篤化予防のため、早期の予防対策に努めた。
- ・介護職員の医療的ケアの実務研修を担当、6年度は1名、研修中です。対象者は順次研修ができる体制を整えている。

(2) 重点目標

- ①日常的な利用者個々の健康状態の確認、異常の発見と迅速かつ的確な対応。
- ②褥瘡ゼロをめざし、早期完治と予防策の徹底。
- ③感染症予防対策の徹底と発生時の拡大防止の指導。
- ④生活中心の個別リハビリ・総合リハビリの実施により心身機能の低下防止を図る。
- ⑤状態変化について家族との連絡を密にし、安心を提供する。
- ⑥看取りについての体制を整える。
- ⑦口腔ケア、フットケアの実施。
- ⑧職員の健康管理・個人衛生の徹底・腰痛防止対策の実施。

(3) 実施状況

①施設内診療状況

定期回診	只友医院 火、木、金（毎週）	利用者一人一人の健康管理については、疾病の安定を図るため、病院側と連携し対応を
	ひらいクリニック 水（毎週）	行った。（発熱者、体調不良時はその都度報告し、早期処置や専門医受診等で対応）

②受診状況（延べ人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	11	6	7	6	6	5	5	4	10	5	5	4	74

<内訳>

内科28回、外科10回、皮膚科17回、歯科11回、精神科2回、整形外科6回、眼科1回

※前年度より、のべ回数は1回減となっている。歯科受診は義歯作成のためであった。

③入院状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	3	0	3	1	3	0	2	0	0	1	0	0	13
在院	74日	0	90日	5日	84日	0	64日	0	0	44日	0	0	361日

<内訳> 誤嚥性肺炎1名、肺炎5名、胆石2名、心不全2名、腎機能低下1名、脳出血1名、けいれん発作1名

※前年度より6名減となっている。入院日数は361日、21日増となっている。4月にコロナ感染となるも入院者はなし。

④死亡者 年間12名（前年度より4名増、うち看取り対応7名）

⑤褥瘡の状況 令和7年3月31日 現在 保有者3名

- 予防対策
- ①体位変換 ②分圧型マットレス使用 ③円座・ナーセントパット等の使用
- ③ポジショニング（個別対応） ④ガーゼ交換・創傷被覆材使用
- ⑤栄養状態の把握（栄養補助食品の検討） ⑥専門医受診等

⑥ 利用者の健康診断実施状況

<胸部レントゲン>

実施年月日	対象人員	実 施 状 況	結 果
R. 6, 8, 20	5 名	健康づくり財団 (施設玄関前)	精密検査 1 名
			2 月は喀痰検査 へ全員移行する

<喀痰検査>チールネルゼン検査（結核予防法対応）

小川法培養

実施年月日	対象人員	結 果	
R. 6, 8, 20	5 5 名	全員陰性	入院 2 名
R. 7. 2. 25	5 6 名	全員陰性	入院なし

3 か月後の判定結果（－）、発症なし

定期的な健康診断については、胸部レントゲン検査、喀痰検査を実施している。

利用者の健康管理については、変化時にかかりつけ医へ状態報告を行った。

<経管栄養者> 令和 7. 3. 3 1 現在

2 名 主治医の指示のもとカロリーや時間設定を行い、加圧ポンプにて注入を行っている。

P E G の交換については、6 か月毎に外来受診して交換を受けている。

<感染症予防対策>

- ・手洗いの徹底、利用者の食前は、アルコール消毒、食後は口周辺や手指の保清に努めた。
- ・ノロウイルス対策として、調理職員に対して、1 0 月～3 月の間月 1 回検査を実施、全員陰性の判定だった。
- ・感染症の経路を絶つことを重点に、職員、面会者への注意、指導を行った。
- ・居室やベッド周辺、廊下や手すり、床などの環境整備に努めた。（温度・湿度調節）
- ・感染性胃腸炎に対する汚物処理の仕方、手袋、予防衣着用の方法について指導を行った。

<インフルエンザ予防対策>

- ・年間をととして、利用者、職員の手洗い、口腔ケア、うがいの励行を行った。
- ・インフルエンザ施設内感染あり（1 / 2 2 ～ 2 / 5）利用者 8 名が感染あり、重症者なし、職員 1 8 名に対してタミフルの予防投与を実施、感染なし。
- ・インフルエンザ予防接種を実施する。（利用者 4 9 名、職員 4 5 名）

<新型コロナウイルス感染対策>

- ・令和6年度は3/28～4/16の間コロナウイルス感染があり、施設内隔離を実施、利用者7名、職員1名の感染対応を実施した。
抗ウイルス剤、解熱剤、去痰薬など使用、重症者、入院者は出なかった。
- ・発生時は、美作保健所に集団発生について、報告し、日々の健康チェックとともに、保健所担当者へ密に連絡をいれ、アドバイスを受けた。
- ・新型コロナが5類移行後は、定期的な抗原検査は実施しておらず、発生時など検査を実施していった。
- ・コロナワクチン接種については、利用者48名（補助あり）職員10名（補助あり）12月に実施した。

⑥職員健康診断実施状況

実施年月日	R. 6. 8. 20		R. 7. 2. 25		R. 6. 12月～R. 7. 3月
内容	既往歴 自覚症状 身長 体重 検尿 聴力 胸部エックス線	血圧 貧血 肝機能 血中脂質 検尿 心電図	血圧 貧血 肝機能 血中脂質 検尿 心電図	既往歴 自覚症状 身長 体重 聴力	〈人間ドッグ〉 生活習慣病予防検診 乳癌、肺癌、胃癌 子宮癌検診 (津山中央健康管理センター) 子宮がん検診のみ 5名)
対象者	64名		26名(夜勤者のみ)		34名

<腰痛検査>年2回実施

近光整形外科診療所にて外来受診をし検査を受ける。

R 6. 4月～5月 受診者44名 腰痛者4名

R 6. 10月 受診者5名 腰痛者2名

安全衛生委員会より個別面接を行い、助言・指導を行った。

腰痛ベルトの支給、ストレッチ体操等、労働災害対策を行った。

⑦調理職員検便実施状況

実施年月日	実施人数	実施年月日	実施人数	実施年月日	実施人数	実施年月日	実施人数
R6. 4. 2	8	R6. 7. 2	10	R6, 10, 1	10	R7. 1. 7	9
R6. 5. 7	10	R6. 8. 6	10	R6, 11, 5	9	R7. 2. 4	9
R6. 6. 4	9	R6. 9. 3	11	R6, 12, 3	11	R7. 3. 4	10

※腸管出血性大腸炎、赤痢菌、サルモレラ菌、腸チフス、パラチフス菌の検査あり、月1回検査出し、全員陰性であった

※ノロウイルス対策については、１０月～３月の間で検査を実施、１０月１０名、１１月９名、１２月１１名、１月９名、２月９名、３月１０名実施した。
全員陰性であった。

⑧技能実習生職員の健康管理

- ・技能実習生職員に対しては、買い物の支援や生活支援を行い、働きやすい環境作りに努めた。
- ・技能実習生職員に対して、健康管理に対してのアドバイスや助言を行った。

(4) リハビリ実施状況（令和6年度）

①個別リハビリ

[illegible]

②步行訓練

[illegible]

③起立訓練

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施人数													
延べ参加人数													

④フットケア

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施人数													
延べ参加人数													

令和6年度も人員確保ができず、機能訓練指導加算が算定できていない。

引き続き、日常生活に必要とする運動を、ラジオ体操、リズム体操、口腔・嚥下体操等で活用している。

レクリエーション行事として、納涼祭り、敬老会、新年を迎える会、誕生会、地域行事では、秋祭り、子供みこしでのふれあいを実施した。

令和 6 年 度

緑 山 荘

ショートステイ

事業報告書

社会福祉法人 加 茂 光 陽 会

I 概 要

在宅での生活を継続するために心身機能の維持・向上を図るべく機能の活用、生活リズムの調整、他者との交流等により活気のあ
る時間を過ごす事ができるようにサービス提供に努めた。

また家庭の事情に配慮し、介護負担の軽減のために認知症の方の利用、緊急利用についても利用日の調整を行い、受入れを行った。

○サービス提供の為の関係機関との連携

- ・適切なサービス提供が実施できるように居宅介護支援事業者や他の関係機関との情報共有及び連携を図り、利用者の状態及び
家族や住環境等の利用者周辺の環境等の情報収集に努めた。
- ・居宅介護支援事業者等が作成した「居宅サービス計画書（介護予防サービス計画書）」に基づき、「短期入所生活介護計画書（介
護予防短期入所生活介護計画書）」を作成し、計画的なサービス提供に努めた。

II 利用状況

利用延べ人数は784人と前年に比べ156減となった。

入所者が新型コロナ、インフルエンザに感染し、ショート受入れを中止することもあった為、利用者数減に繋がったと思われる。

今後の稼働率アップの為には、利用者本人とその家族が利用しやすい状況をつくること、居宅介護支援事業所との連携を図り新規
利用者を確保すること、利用者本人にまた来て利用したいという楽しみを持ってもらえるよう質の高いより良いサービスを提供する
よう心がけることが必要と考えられる。

令和 6 年 度

緑 山 荘

デイサービスセンター 事業 報 告 書

社会福祉法人 加 茂 光 陽 会

I 概 要

介護保険制度において、在宅の支援に重点が置かれている中、施設の持つ機能を活用して、積極的に事業に取り組んできたが、年間利用者人数は、利用者の入院・療養・ご逝去等により変動があり、利用者の減少に伴い令和3年6月1日より利用定員を20名から18名に削減し、「通所介護」から「地域密着型通所介護」事業へ移行した。

また、利用者数減数、職員退職により令和5年1月31日を以って休止する事となり、令和5年度以降の事業は実施できていない。

令和 6 年 度

緑 山 荘

居宅介護支援センター 事業報告書

社会福祉法人 加 茂 光 陽 会

1. 概 要

住み慣れた地域の中で在宅生活を継続することができるよう、在宅介護に関する援助及び介護保険サービスを利用するための支援を実施し、要介護状態になった場合でも個々の有する能力に応じて自立した生活を自宅で送ることができるよう、利用者の心身や介護者の状況や生活環境等に応じて、利用者及び介護者の選択に基づき、介護保険サービス及び保健医療サービス、他の福祉サービス等が提供されるようにケアマネジメントを実施する予定であったが、令和3年6月21日をもって緑山荘居宅介護支援センター休止。令和4年度以降の事業は実施できていない。

2. 居宅介護支援事業

介護保険制度の趣旨に従い業務を実施、要介護状態の方が安心して地域で生活できるよう支援に努めた。介護認定を受け、介護保険サービスを利用する方などからの相談に応じ、利用者の希望や心身の状態を考慮しながら、在宅や施設での適切なサービスが受けられるよう居宅サービス計画の作成や関係機関との連絡調整を行う予定であったが、令和3年6月21日をもって緑山荘居宅介護支援センター休止。令和4年度以降の事業は実施できていない。

令和6年度

グループホーム杉宮

事業報告書

社会福祉法人 加茂光陽会

I 概 要

認知症によって介護が必要になったご利用者が安心して、自分の居場所として感じられるような家庭的な環境づくりに努めた。地域の協力をいただき、避難訓練や子ども会との交流など感染対策に注意し地域交流を図った。ご家族とご利用者との時間を大切にさせていただくため、外出や面会も柔軟に対応した。

(1) 利用者の自立支援の質的充実・人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めた。

- ・ホームでの生活が快適でより豊かなものとなるよう、「ご利用者、職員共に笑顔あふれる明るい居場所づくり」を年間目標とし環境作りに努めた。
- ・利用者および、その家族に対しサービスの内容および提供方法についてわかりやすく説明するように努めた。ご家族と離れて暮らすご利用者の日常の生活をお伝えできればと、行事や日常の余暇の様子を写真に撮り毎月数枚ずつを利用料請求の際に同封して送付した。・適切な介護技術をもって、サービスを提供するよう努めた。
- ・グループホーム杉宮内でご利用者が楽しめる行事を企画し、外部ボランティアを招き行った。・令和6年6月9日（日）令和6年10月14日（月）ミニ運動会。・令和6年8月11日（日）納涼祭。・令和6年9月16日（月）敬老会。令和6年12月25日（月）クリスマス会。令和7年2月3日節分。令和7年3月3日ひな祭り会。避難訓練の際には、地域の消防団、町内会の役員などの参加により、地域の交流が出来た。
- ・ご利用者の家族からの差し入れ野菜、旬の食材を使用し、ご利用者の希望に添った献立を作りと衛生管理に努めた。
- ・ご利用者の健康管理について、主治医・家族・訪問看護師と連携し、日常の健康チェックを行い、健康管理に努めた。

(2) 適正な運営管理並びに関係機関との連携

施設のもつ社会的使命を自覚し、行政・医療機関・社会福祉協議会等、関係機関との連携を密にして、利用者のサービス向上に努めた。（運営推進会議開催・包括ケア会議、また外部評価や運営指導により貴重なご意見等をいただいた。）

津山市高齢介護課からDVDを借り、津山市が薦めている『こけないからだいたいそう』を週1回ユニットごとで実施している。

(3) 職員の知識および技術の向上

利用者の自立支援のため、認知症の方々に対し、一人ひとりのニーズや意思を尊重し、常に誠意を持って質の高いサービスが提供できるよう、積極的に外部研修に参加する機会を設け、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めた。（外部研修受講：認知症基礎研修・認知症実践者研修・介護報酬改定・ノーリフティング・非薬物的介入・皮膚疾患とケア方法・感染症対策研修会・高齢者虐待防止研修会・認知症ケア・不適切ケア）（内部研修：身体拘束・誤嚥・接遇・避難訓練・認知症知識・感染症・介護技術・医療的ケア・介護保険制度など毎月勉強会として実施した。）

令和6年度

稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
しゃぼん玉	98.1	90.7	88.9	92.8	99.3	91.4	89.2	80	92.8	93.2	96.4	94
紙ふうせん	91	90.7	88.9	100	84.5	80	84.6	88.9	95	100	98.9	98.9

年間平均稼働率　しゃぼん玉 92.2%　紙ふうせん 91.8%

年齢別人数

令和7年3月31日現在

	男	女	計
60歳代	0	0	0
70歳代	0	0	0
80歳代	2	7	9
90歳代	2	5	7
100歳代	0	1	1
計	4	13	17

平均年齢 8.9歳

介護度別人数

	男	女	計
要介護1	1	3	4
要介護2	1	7	8
要介護3	0	1	1
要介護4	2	2	4
要介護5	0	0	0
計	4	13	17

平均介護度　2.2